



Panasonic®

取扱説明書

ETC2.0車載器

品番 **CY-ET2010D**

ご使用前に「安全上のご注意」(→ P.4 ~ 7) を必ずお読みください。

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 説明書は車の中に保管してください。
- 説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、説明書とともに大切に保管してください。



保証書付き

技術基準適合認定品 

YEFM0412248 F0818-0

ご利用の前に	2
安全上のご注意	4
使用上のお願い	8
ETC2.0とは	10
ご利用の流れ	12
各部のなまえとはたらき	14
操作のしかた	15
・ ETCカードを入れる	15
異常発生時の案内と対処	16
お手入れ/ETCカードの取り扱い	18
故障かな!?	19
よくあるご質問(Q&A)	20
道路事業者からのごお願い	22
用語解説	29
仕様	30
保証とアフターサービス	32

1 ETC2.0 車載器

「車両への取り付け」と「セットアップ」を、お買い上げの販売店に依頼してください。

- 本機の取り付け・配線には専門の技術と経験が必要です。
- ご利用になる車両情報のセットアップが必要です。(→P.8)

2 ETCカード

ETCカードの有効期限を確認してください。

- ETCカードをお持ちでない場合や、有効期限が切れているときは、クレジットカード会社へお申し込みください。

3 動作の確認

以下の手順で、本機が正しく動作することを確認してください。

1 車のエンジンをかける。
(ACCをONにする)

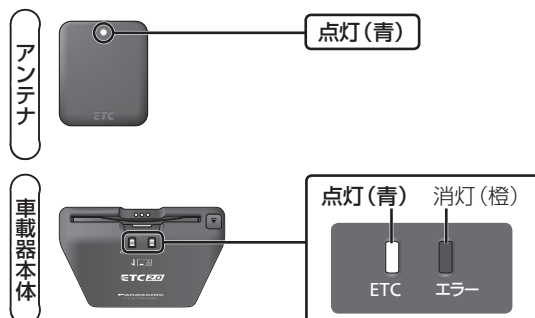
2 車載器本体に
ETCカードを挿入する。

- 右図の向きで、カチッと音がするまで差し込んでください。



3 音声案内と各ランプの点灯状態を確認する。

- 正しく動作しているときは下図のように案内します。
- 案内が異なる場合は(→P.16)



準備完了です

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



警告

ご使用になるとき



ヒューズは、必ず規定容量品を使用し、交換は専門技術者に依頼する

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。ヒューズ交換や修理は、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービスご相談窓口」に依頼してください。



二輪車で使用しない

本機は四輪車専用です。
二輪車での使用はできません。
使用する環境が異なるため、故障の原因となります。

機器内部に、水や異物を入れない

特に、傘による雨水や、飲み物などがかからないようご注意ください。水や湿気、ほこり・油煙、金属物や燃えやすいものなどが機器内部に入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電、故障の原因となります。

故障や異常な状態のまま使用しない

異常（異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がするなど）が起きた場合は、ただちに使用を中止し、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービスご相談窓口」にご相談ください。事故や火災、感電の原因となります。お客様による修理は、絶対におやめください。



警告

ご使用になるとき



分解禁止

分解や改造をしない

交通事故や火災、感電、故障の原因となります。

- コードの被覆を切って他の機器の電源をとるのは、絶対におやめください。
- アースコードの改造や、他の機器とのアース接続は絶対におやめください。

また、分解・改造は、電波法で禁じられているため、罰則を受けることとなります。



注意

ご使用になるとき



本機以外の車載器と併用しない

通信エラーの原因となります。
本機を取り付ける前に、取り外してください。

アンテナの上に物を置かない

通信面を遮ると、情報を受信できないことや開閉バーが開かないことがあります。

アンテナの取り付け位置を変更しない

アンテナは路側アンテナに向かって適切な位置に取り付けられています。取り付けなおすときは、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービスご相談窓口」にご相談ください。

落下させる、たたくなど、強い衝撃をあたえない

故障や火災の原因となります。

警告

ETCを利用するときは

ETCカードを正しい向き(→P.15)で挿入する

挿入していないとき、向きが間違っているときは、開閉バーが開きません。カード確認に時間がかかるため、料金所の直前でカードを挿入してもETC車両と認識されない場合があります。

常に、実際の交通規制に従う

交通事故の原因となります。

有効期限が切れたカード、発行元が無効としたカードは使用しない

ETCカードの挿入と有効期限を音声案内しても、料金所で開閉バーが開きません。

注意

ETCランプ(青)(→P.14)点滅中は、ETCカードを取り出さない

ETCカードのデータが破壊され、使用できなくなるおそれがあります。

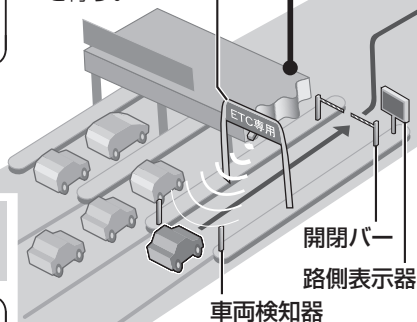
料金所では

利用履歴を確認しない
利用履歴確認中は路側アンテナと通信できないため、開閉バーが開きません。

速い速度で走行しない
衝突事故の原因となります。いつでも停車できる速度(時速20 km以下)で走行してください。

車間距離を詰め過ぎない
前車が急停車すると、追突するおそれがあります。

路側アンテナ
料金収受に必要な情報の読み出し・書き込みを行う。



開閉バーが開かないときは、無理に通行しないでください。負傷したり車や道路設備に傷がつくことがあります。

警告

スマートIC[※]では

開閉バーの手前で一旦停止する
開閉バーに衝突し、事故の原因となります。

盗難防止のためSA・PA[※]などで車から離れるときはETCカードを取り出すことをお奨めします。

※IC: インターチェンジ
SA: サービスエリア
PA: パーキングエリア

SA・PA[※]では

運転を再開するときは、忘れずにETCカードを挿入する
挿入していないと開閉バーが開きません。

警告

出口料金所では

入口料金所と同じETCカードを使用する
異なるカードを使うと、開閉バーが開きません。

警告

走行中は

ETCカードを取り出さない
本線上に経路チェックや料金精算を実施するアンテナが設置されています。本線上でETCカードを取り出すと、出口料金所で開閉バーが開きません。

運転者は操作をしない

前方不注意による事故の原因となります。必ず安全な場所に停車してから操作してください。